

平成28年度 各事業部会活動報告

《 医療事業部 》

医療事業部会長 宮平慎子

＜活動内容＞

平成28年度の診療報酬改定では栄養食事指導料が増額、対象疾患も拡充され、私たち医療に携わる管理栄養士にとって歴史的に重要な年となりました。これまで積み上げてきた実績が評価された結果と考えられます。2年に1度実施しております「全国病院栄養部門実態調査」の記載には大変ご多忙の中ご協力頂いていることに大変感謝申し上げます。この調査結果は厚生労働省へ診療報酬の要望を提出する際、基礎資料としてたいへん重要な役割を果たしております。また、学会発表や論文執筆なども厚生労働省へ要望する際、重要なエビデンス(裏付け)となります。今後とも積極的なご発表、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

国は地域包括ケアシステム推進にむけ取り組んでおり、今後、在宅栄養管理の充実を図るうえで、外来や入院での栄養指導、病棟業務、多職種との連携、入院時の栄養管理、退院後の施設や在宅への栄養情報提供など管理栄養士が携わる課題は山積しております。地域包括ケアシステムの中で栄養管理の充実が実現するような研修会など様々な形で情報提供する機会を検討しております。

また平成29年度は、沖縄県で第37回食事療法学会が開催されます。

日時：平成30年3月3日(土)、4日(日)

場所：パシフィックホテル沖縄、沖縄県男女共同参画センターていりる

食事療法学会は医療に携わる管理栄養士らが、日頃の研究成果を発表する場となっており、また平成30年度は医療・介護報酬同時改定の年で、特別講演では厚生労働省の担当者より直接、改定ポイントを確認できる絶好の機会です。ぜひとも、多くの方に食事療法学会へ興味を持っていただき、演題発表や参加、実行委員会へのご理解、ご協力を宜しく申し上げます。

【平成28年度活動内容】

- 研修会：10月29日 渡辺啓子氏による「がんの栄養管理と食事介入」
- 栄養ケアステーション電話相談
- 第37回食事療法学会実行委員立ち上げ

《 地域活動事業部 》

地域活動事業部会長 吉田陽子

<活動内容>

平成 28 年度は、会員約 120 名が在籍、社会のニーズに対応しうる実力のある栄養食事指導・支援ができるよう情報を共有しスキルアップに努めて、妊産婦から乳幼児、高齢者までライフスタイルに合わせた県民の食生活、健康づくりの支援を行いました。

厚生労働省からは、地域包括ケアシステムの構築が打ち出され、その中にある『地域ケア会議』には管理栄養士の参加が必須となってくることを踏まえ、次年度から引き続き、県からの基金を活用し、地域包括ケアシステムに関する管理栄養士リーダー育成事業を行いました。現在、管理栄養士・栄養士が地域や在宅で活動することが少ない状態です。地域で活躍できる管理栄養士・栄養士を増やし、地域から声があがったときに直ぐに対応できる体制を整えることが急務と思われまます。今後、多職種とも連携しながら、さらなるスキルアップを行い、より多くの方が地域に貢献できるよう、ご意見、ご指導、ご協力をお願いします。

★平成 28 年度 会員交流、スキルアップのための活動

・新たな財政支援制度（基金）に係る事業（地域包括ケアシステムに関する管理栄養士リーダー育成事業）として研修会、行政・地域活動・集団健康栄養士事業部研修会（沖縄の伝統料理を学ぼう）をはじめ、各種研修会の企画・運営に携わると共に、多くの会員の参加がありました。

・ 定例会 5 回開催 情報交換、ミニ勉強会

（毎月第 2 土曜日定例会の開催を行います。他事業とかち合う場合は中止）

内容 4 月：「情報交換会」 6 月：「情報交換会」 7 月：「乳幼児勉強会・情報交換会」

9 月：「ヨガ・情報交換会」10 月：「情報交換会」2 月：「情報交換会」

3 月：「ヤクルトコミュニティープラザ見学・情報交換会」

★平成 28 年度 主な地域活動

・市町村ヘルスアップ事業 ・栄養ケアステーションでの電話相談 ・県民栄養調査の協力 ・妊産婦の食生活相談、乳幼児検診時の栄養相談、一般栄養相談、特定健診保健指導等 ・クリニックにおける栄養指導 ・食育月間の委託事業（展示、調理実習、食育寸劇）・高齢者の介護予防教室の講師 ・那覇市委託事業の外出アドバイザー派遣事業に協力 ・マスコミ依頼の出演、執筆等 ・保育園や学校、地域での食育講師

・各種イベントにおける栄養相談 ・企業依頼のクッキング教室 ・5ADAY 事業の協力

・「うちな一版食育カルタ」による食育 ・糖尿病予防事業 ・介護予防事業

・地域ケア会議の助言者 ・多職種連携研修会講師

・長寿再生計画（高校生へ食育 SAT を使ったの食育授業）

《 福祉事業部 》

福祉事業部会長 湧田 和枝

<活動内容>

福祉事業部は、保育園、児童養護施設、障害者支援施設、老人福祉施設、老人保健施設などの福祉施設に勤務する管理栄養士・栄養士で構成しています。

施設における食事の提供及び栄養管理は、施設種別はもちろん個々の施設によって状況は様々です。

児童・障害・高齢と求められる範囲が広く、基本的な考え方や留意点は共通するものであるが、施設種別によって特に留意が必要な点が異なる場合もあることから、高齢・障害・児童の特性に合わせて食事の提供及び栄養管理を進めていくことが重要になってきます。福祉栄養士には、さまざまな事に対応できるスキルが求められています。

今年度は、食の基本となる衛生管理と郷土料理について研修会を行いました。

次年度も福祉事業部の基本となる研修会に取り組みスキルアップに繋がればと考えています。是非多くの会員が参加を行っていただければと思います。

<研修会>

① 福祉栄養士研修会

平成 28 年 7 月 19 日 (火) 沖縄県総合福祉センター

「衛生管理について」

講師： 一般財団法人 沖縄県環境科学センター 生活科学部微生物化兼食品化学課

副参事 徳松 安己彦

「島野菜の特徴と調理の展開」

講師：一般社団法人 トータルウェルネスプロジェクトオキナワ

管理栄養士・健康運動指導士 伊是名カエ

②長寿再生支援事業（高齢者への食育支援）沖遊協創設20周年社会貢献助成事業助成金

「高齢者・在宅療養者・居宅介護者等への食支援のための調理実習」

～レシピ本を利用したお手軽簡単レシピ～

平成 29 年 2 月 15 日 (水) 首里公民館調理室

講師：老人ホーム大名 管理栄養士 湧田和枝

《 公衆衛生事業部会 》

公衆衛生事業部会長 砂邊 里佐

<活動内容>

今年度は、公衆衛生事業部会の定例会を読谷村で2回開催しました。なかなか定例で集まる機会がなかったのですが、これを機に次年度も定例会の開催を予定しています。それから、地域活動として県委託の予算より「地域活動栄養士研修会」を本島と宮古島で開催いたしました。松本嘉代子先生を講師としてサーターアンダギーとクープイリチーのデモンストレーションを行いました。沖縄の伝統料理を次世代に引き継ぐため調理実習だけでなく、伝統的な味も引き継いで欲しいとの松本先生の思いにより先生の作った料理を試食させていただきました。質疑応答の時間も長くとり地元の伝統料理をどうやって次世代に引き継いでいくのか、栄養士として考えさせられる研修会となりました。また、公衆衛生部会として市町村栄養士配置促進に向けて活動しているところですが来年度も活動に取り組んでいきたいと思っています。

<活動報告・研修会参加>

- ・新人栄養士研修会
- ・県民健康フェア
- ・地域活動栄養士研修会
- ・新生涯学習

《 学校健康教育事業部 》

学校健康教育事業部会長 高吉 裕士

<活動内容>

平成28年度における学校健康教育事業部の活動として、個々での県栄養士会事業参加や、各学校等の勤務先における食育活動を行いました。

主な内容としては、高等学校給食研究協議会に向けた学校給食での食育及び食育SATシステムを活用した講話、美里工業高等学校の生徒に向けた最後の成長期での食育及び、食育SATシステムを活用した講話、中城村学校給食共同調理場に勤務する栄養教諭によるJDA-DAT（日本栄養士会災害支援チーム）としての、給食時間を活用した食育講話及び体験を実施しました。

特にJDA-DATの内容に関しては、1回目は学校給食献立に備蓄可能な救急カレーを出して、防災の時の食事と助け合うことのお話。2回目は、食を通して防災と東北地方の理解をするという目的で、乾パンの試食体験や東北地方太平洋沖地震（3.11）に合わせた東北応援献立を提供しました。

また、学校現場では、沖縄県医師会発行の「次世代の健康づくり副読本」を活用した授業の取り組みが進んでおります。

現在は、栄養教諭・栄養職員としての職務内容が複雑になっておりますので、学校健康教育事業部の連携を強化し情報共有を行い、さらに他事業部との交流を図りながら、スキルアップを目指したいと思っております。

《 勤労者支援事業部会 》

勤労者支援事業部会長 宮里 洋美

勤労者支援事業部 上原 かおり (執筆)

<活動内容>

平成28年度は県栄養士会主催の独自事業、委託事業に協力しました。そして毎年開催されている地域活動研修会の公衆衛生事業部会とともに企画・運営の年であり、今回は、松本料理学院の松本嘉代子先生にお願いさせていただき「～沖縄の伝統料理を学ぼう～」をテーマに琉球料理についての講話と料理のデモストレーションもしていただきました。平成28年度は管理栄養士リーダー育成事業のひとつに調理実習（6～10月開催）も開催されたこともあり、管理栄養士・栄養士の基礎である「料理」という部分に多く触れることができた年だったと思います。しかし、毎年の目標である勤労者支援事業部独自の研修会は、実施することができませんでした。平成29年度は定期的に集まり事業部会を充実させ、独自での勉強会を企画など、会員のスキルアップをめざしていきたいと思います。

<活動報告・研修会参加>

- ・新人栄養士研修会
- ・管理栄養士リーダー育成事業
- ・県民健康フェア
- ・食育フェスティバル
- ・地域活動栄養士研修会
- ・病院栄養士協議会研修会
- ・生涯教育

《 研究教育事業部会 》

研究教育事業部会長 宮川 典子

<活動内容>

主に、若い方々の人材育成、研究等に力を注いでいます。平成28年度は、毎年の恒例でもある、研究発表会のための支援、勉強会の実施。それにより、様々な場での正しい発表に仕方等、人材育成に務めています。

また、委託事業（琉球新報社）の食育活動にも力を注ぎ、子どもたちとの関わり方等、研究をし、実践しています。

<活動報告>

- ・平成28年度栄養士研究発表
- ・平成28年度新たな食環境に対応した食育活動モデル推進事業

《 八重山部会 》

八重山部会長 西里 礼乃

平成 28 年度は県栄養士会をはじめ、地域の関係機関との“連携”を意識した取組みを進めてきました。

2 回目となる食育イベントでは、八重山調理師会と連携し石垣市健康福祉まつりの場を活用して「取り戻そう!健康長寿おきなわ!!食事の改善編!」をテーマに、食育 SAT システムの体験コーナーや島野菜たっぷりレシピの配付、試食コーナーを設け、多くの方に自身の食事を見直す機会を提供することができました。

また、地域包括ケアシステムに関わる管理栄養士リーダー育成事業においては、15 名のリーダーの誕生とともに「石垣市介護支援専門員支援会議」や「石垣市在宅医療・介護連携推進協議会」への出席も定例化し、栄養士会として地域包括ケアシステムの構築における役割を担い始めつつあります。

さらに、食育体験学習講師研修会も開催でき、15 名の食育インストラクターが認定され、5 ADAY 食育体験ツアーに地元栄養士の講師派遣が可能となりました。

次年度も引き続き、県栄養士会との情報交換を密に行いながら、部会員の“和”を大切にし、栄養士会として地域のニーズに応えられるような会活動を行っていきたくと考えております。今後とも皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

〈主な部会活動〉

役員会 (月 1~2 回)、八重山部会定期総会・研修会 (5 月 20 日)、食育劇場 (6 月 10 日、9 月 8 日)、親子料理教室(8 月 20 日)、石垣市健康福祉まつりでのコーナー設置 (12 月 3 日:食育イベント)、大量調理従事者衛生教育研修会 (3 月 10 日)

〈県栄養士会との連携事業〉

地域包括ケアシステムに関わる管理栄養士リーダー育成事業研修会 (10 月 23 日、1 月 28 日)、沖縄県食育体験学習講師研修会 (12 月 4 日)、食育イベント (12 月 3 日)

〈行政機関等への協力〉

- ・八重山保健所:乳幼児健康診査(栄養指導)従事者研修会共催開催(5月20日)、八重山地区健康おきなわ21推進会議(8月4日、2月23日)、同会議ワーキング部会〈肥満対策〉(2月7日)、国民・県民健康栄養調査員の派遣(2名)、「ヘルシーメニューコンテスト~私の手作り朝ごはん~」共催開催(11月11日)、八重山地区保健医療計画協議会(1月26日)
- ・石垣市:母子保健事業(乳幼児健診での栄養相談)へ派遣(随時)、石垣市介護支援専門員支援会議へ派遣(8月19日、10月27日、11月~定例派遣)、石垣市在宅医療・介護連携推進協議会へ出席(12月8日)
- ・竹富町:母子保健事業(乳幼児健診での栄養相談)へ派遣(随時)
- ・沖縄県公衆衛生協会:調理師試験のための講習会へ講師派遣(7月24日)
- ・沖縄県母子寡婦福祉連合会:生活支援員養成講習会へ講師派遣(10月2日)
- ・株式会社おきなわTLO:県産野菜を活用した料理講習会共催開催(1月21日)
- ・八重山在宅フォーラム:「在宅医療」に関する講演会共催開催(3月4日)

《宮古部会》

宮古部会長 友利 康子

副会長 我那覇 ゆりか (執筆)

栄養士会宮古部会は、現在会員 21 名、役員 6 名で活動しています。毎月第二土曜日に定例会を開催し、活動計画やお互いの専門的情報、イベント情報、ときにはグルメ情報などを交換し、会員同士交流しています。また、各種研修会の開催および受講、イベント開催、講師派遣などを実施し、宮古島の健康づくりのため、食育、栄養相談、料理教室など栄養士としての専門的知識・技術を活かし、活動しております。本島に比べると少ない会員数ですが、それぞれ職務専念しながら、会長を中心に「仕事・子育てを優先しつつ無理のない参加による優しい会活動」を展開しています。以下に活動内容の詳細を記載します。

活動内容	日時	場所
・定例会	毎月第二土曜日	栄寿園会議室他
・役員会	随時	//
・宮古島市 食育推進計画会議	通年	副会長対応 保健センター
・宮古島市 健康増進計画推進会議	通年	会長対応 保健センター
・宮古島市地域ケア会議	毎月1回	管理栄養士2名で対応 宮古島市役所
・夏休み親子食育教室	8月21日	会員10名で対応 保健センター
・レシピ本販売	通年	28年度は約60冊販売
・沖縄県委託事業 「地域活動栄養士研修会」	9月24日 H29年3月11日	働く女性の家
・地域包括ケアシステム構築に関わる管理 栄養士リーダー育成事業	11月2日 H29年2月25日	働く女性の家 栄寿園 ※終了証書取得(5名)※
・5ADAY研修会	11月12日	働く女性の家 5名参加
・5ADAY講師派遣	H29年2月16日	西城小学校 副会長対応
・食育フェスティバルin宮古島	11月13日	平良中央公民館
・チャージング心援助参加	11月27日	平良中央公民館
・ウェルセミナー（講師育成研修会）	11月25日	栄寿園会議室 5名参加
・シバ-人材カ- 高齢者就労支援事業へ講師派遣	12月8~16日	会長他4名の管理栄養士で対応 平良中央公民館
・平成28年度在宅医療・介護連携推進の ための多職種研修会	H29年2月25日	会員5名参加 宮古合同庁舎 終了証書取得(3名)
・チャプルスデー報告会及び講演会参加	H29年3月6日	会員4名参加 宮古合同庁舎

私は、今年度、宮古部会副会長として活動させていただきました。先輩方の活動力や会員同士の結束力、地域との繋がりや強さなど、多くを学ばせていただきました。本島との距離や少ない会員数など、離島ならではの難しさもありますが、それゆえに会員同士の絆や地域力は強く、イベント開催においても、少人数短時間で企画、準備、開催していく頼もしさがありました。肥満、飲酒など県内で最も深刻な健康・食生活課題を抱える宮古島市において、我々栄養士会活動への期待と責任は大きいものと考えます。宮古を代表する栄養士として自覚と責任を持ち、今後も、部会一団となって宮古島の発展と市民の健康づくりを推進し、多職種とも連携しながら、栄養士力を発揮して参りたいと思います。また、宮古島の特色ある食べ物や料理を学び、伝え、会員自身が楽しく健康的で魅力ある活動を展開していけたらと存じます。

《 日糖協 沖縄県栄養士部会 》

福里 勝子

＜活動内容＞

当部会の主な活動内容は、糖尿病に関する研究、研修会の開催、日糖協県支部が主催する小児糖尿病サマーキャンプ等の協力と、部会員へのさかえの発送作業を行っています。

昨年度は、会員の方から運動についての研修会をして欲しいとの声があり、開催しました(研修会内容は下記参照)。また、研修会Ⅲでは伊是名カエ先生による調理実習を行いました。どちらも多くの会員の参加があり、普段の栄養指導業務に活かされると、大変好評でした。また、会員の交流の場にもなりました。

今年度も会員の皆様のご期待に添えるような研修会を開催したいと思いますので、ご要望等ありましたら、お教え下さい。共に学び、レベルアップしましょう！

小児糖尿病サマーキャンプでは、各施設、多くの方々の参加、協力がありました。参加、協力された皆様、どうもありがとうございました。

＜活動状況＞

1. 研修会(CDE 第1群0.5単位取得、OLCDE1単位取得) 年3回開催

＜Ⅰ＞7月2日「いつでもどこでも運動療法 ～よりよい血糖コントロールをめざして～」

ハートライフクリニック 健康運動療法士 長嶺 敦司先生

＜Ⅱ＞「スポーツ栄養と糖尿病」

医療法人 清心会 徳山クリニック 管理栄養士 公認スポーツ栄養士 大城ちか子先生

＜Ⅲ＞「玄米と糖尿病食 ～県産食材を用いて～」

一般社団法人トータルウエルネスプロジェクトオキナワ 伊是名カエ先生

協力協賛：沖縄食糧 株式会社

2. 平成28年8月3日～6日 第39回沖縄県小児糖尿病サマーキャンプ 玉城青少年の家